

藤枝型 「コウノトリ舞うオーガニックビレッジ」



静岡大学藤枝フィールド
大岡千紗・Gorachad Goshami・伊藤蘭・宗近眞子 他4名

どちらが、環境に良さそうですか？



どちらが、環境に良さそうですか？



鳥は「環境の良さ」を
わかりやすく伝えてくれるアイコンである。



どちらのいる田んぼが良い印象ですか？



農林水産省の環境保全型農業の指標

鳥は、虫や魚に比べて見つけやすく、
親しまれやすい。

生態系ピラミッドの頂点におり、
環境指標として優れてい
る。



私たちは、
藤枝市仮宿地区で、飛翔するコウノトリを発見した。



写真は兵庫県の個体

私たちの提案

鳥はオーガニックビレッジのアイコンになるのでは？

発信器をつけた標識個体のデータから、
大井川河口には飛来しているが、内陸部へは少ない。

- 私たちが発見したのは、
田植えの入水が早いエリアだった。
- コウノトリの飛来には、
餌場となる水の張った田んぼが必要かも。

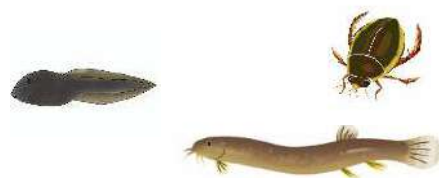
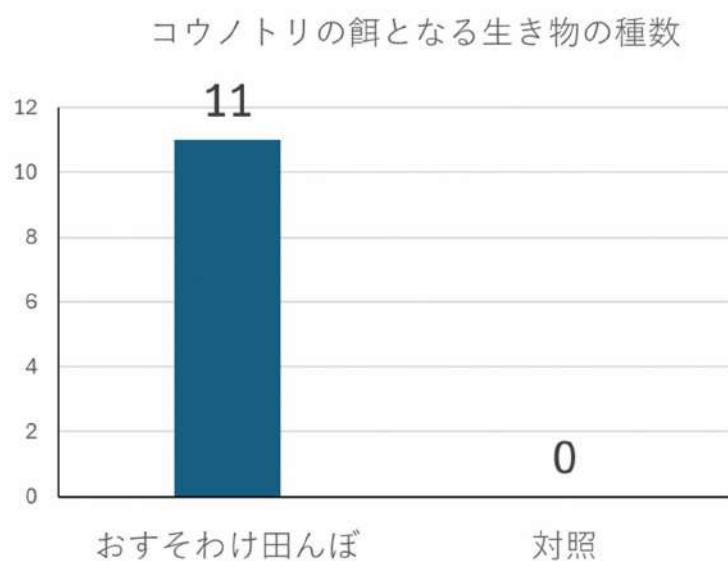


田んぼ全体で行う「コウノトリ育む農法」は、
大がかりで簡単ではない

もっと手軽に、気軽に、田んぼの一部を
コウノトリの餌場とする「おすそ分け田んぼ」



「おすそわけ田んぼ」に見られたエサ生物



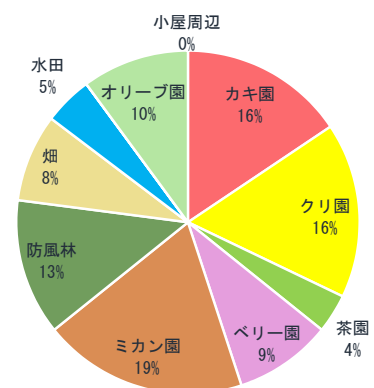
残念ながら、コウノトリの飛来は確認できなかった。

鳥は、「環境の良さ」を
わかりやすく伝えてくれるアイコンである。

コウノトリ以外の鳥も、
オーガニックのシンボルとならないだろうか？



そこで、水田だけでなく、
カキ園、クリ園、茶園、ベリー園、ミカン園、畑、オリーブ園に見られる
鳥についても調査を加えた。



鳥は、農耕地を生息環境として利用している！

モズの場所別の割合



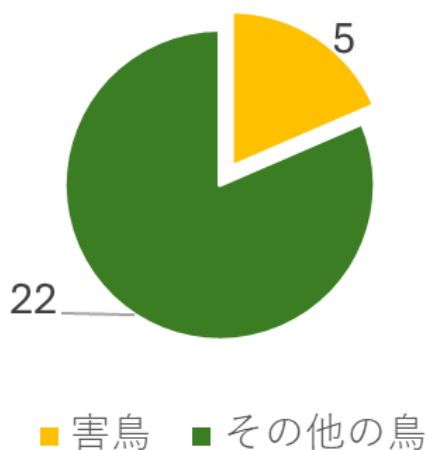
[<https://www.yamakei-online.com>]

しかし、鳥は農業の害になるのでは？



私たちの調査では、農耕地で見られた鳥27種のうち、害鳥は5種のみ。

農耕地の害鳥の割合



今後の研究として、害鳥の被害を軽減し、鳥の保全の場として、利用する農耕地管理が必要。

私たちの研究成果から得られたヒント

1. 防風林の広葉樹が、鳥の飛来の基地となる可能性がある。
2. 茶園の防霜ファンの電線が、鳥散布型雑草の侵入源となる可能性がある。

現在、鳥の飛来を忌避する
簡易の装置を開発中です。



コウノトリ以外の鳥はどうだろう？

「オーガニックのシンボル」の私たちの提案



1. ケリ



茶どころの藤枝市は茶摘みの前と後に田植え時期がある！
(田植えの時期の多様性が鳥の多様性を生む！)

早い田んぼ → コウノトリ
遅い田んぼ・レンゲの田んぼ → ケリ

2. ウグイス



©FUJIEDA MYFC

ウグイスは藪を好むが、私たちの調査では、
茶園にも生息する。

オーガニック茶園や、景観保全茶園のシンボルと
なりえないか。

なお、本研究内容については、
「藤枝市地域政策研究・創造事業令和7年度採択事業」として
2025年度東海北陸雑草研究会で発表し、優秀発表賞を受賞しまし
た。

謝辞

本研究に協力いただいた日本野鳥の会静岡支部、兵庫県立大学、
越前市役所の各位に謝意を表す。



有機茶園における 除草方法の違いが 雑草植生に及ぼす影響

稲垣栄洋・岩瀬結子（静岡大・農）

有機茶農家の管理方法の類型化

藤枝市内の古くから有機栽培を行うすべての農家・団体（6団体）に雑草管理方法の聞き取り調査を行った。

また、「2022年度藤枝市地域政策研究・創造事業助成金」の研究成果については、
今年度、磐田市で開催された有機農業学会・全国有機農業研究者会議で発表しまし
た。



ご清聴ありがとうございました

21

藤枝型 「コウノトリ舞うオーガニックビレッジ」



静岡大学藤枝フィールド

大岡千紗・Gorachad Goshami・伊藤蘭・宗近眞子 他4名